

広島県立広島中学校 音楽科 学習指導案

指導者 濱本 飛鳥

1 教科のテーマ

思考力・表現力を高め、豊かな情操を養うための言語活動の充実

2 日時 11月2日(水) 第4時限(13:00~13:50)

3 対象 中学校第2学年 40名

4 場所 音楽教室

5 題材名 広島県の魅力を伝えるCMソングをつくろう

6 題材について

題材観	<p>本題材で扱う学習指導要領の内容は、第2学年及び第3学年「A表現」(3)ア「創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること。」、イ(7)「音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。」、ウ「創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。」とし、本題材の学習において生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を「旋律」「リズム」と設定する。</p> <p>本題材では、言葉の特徴や音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解するとともに、課題や条件に沿った音を組み合わせる技能を身に付けながら、まとまりのある創作表現を創意工夫し、創作に親しむ力を育成することを目指す。</p>
生徒観	<p>本学級の生徒は音楽科の授業に意欲的に取り組んでいる。9月に実施したアンケートでは、「音楽の授業は好きだ」という質問に対して、86%の生徒が「あてはまる」、「ややあてはまる」と肯定的な回答をした。しかし、創作分野に限定し「創作の授業は好きだ」について問うと、肯定的な回答は76%に留まった。否定的な回答の生徒からは、「音符などの知識が乏しいから」「楽譜の読み書きが苦手だから」「アイデアが思い浮かばないから」「自分の作品に自信がなくて周りの目が気になるから」等の声が理由として挙がった。これらの実態を踏まえて学習過程を工夫していく必要がある。創作の学習は今年度2回目であり、一学期には「構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。」の題材で、音の重ね方を工夫したりリズムアンサンブルをつくった。この題材では、班での対話がイメージを深めることにつながり、表現意図をもって各班でオリジナルの作品を仕上げ、学級内で発表することができた。</p> <p>研究テーマに掲げている言語活動の充実の視点については、校内の第1回授業アンケート(7月実施)において、「他の人と話し合ったり、さまざまな情報に触れたりすることを通して、自分の考え方を広げ、深めている(中2音楽)」に対して98.1%の生徒が肯定的な回答をしている。このことから、多くの生徒が対話を通して学びを深めていると実感していることが分かる。しかし、実際の授業では、言葉によるコミュニケーションに傾くことが多く、音楽科の特質に応じた言語活動が十分にできているとは言えない。</p>
指導観	<p>本題材の学習では、創作に苦手意識をもっている生徒が一定数いることを踏まえて、すべての生徒の主体的な学びを促すために、タブレット端末を効果的に使う。音楽制作ソフト(SONG MAKER)やバーチャルピアノを活用して学習を進めることで、理論に偏ることなく音のつながり方を自由に試す時間を多く確保するとともに、作った音楽の保存と再生を容易にし、音楽によるコミュニケーションを充実させていく。また、創作の過程を視覚化したワークシートを使用することで、見通しをもって活動させ、思考を深めさせるとともに創意工夫を促していく。このワークシートの活用は、学習の自己調整にもつながると考える。さらには、意見交換の場を適切に位置付けることで、つくっている作品のよさを認めあい自信をもたせるとともに、よりよい作品に仕上げていくための修正点やさらなる工夫点を見付けるきっかけをつくる。本題材の学びが、今後の学習や生活における音楽に対する感性を豊かに働かせるきっかけとなることを期待して指導に当たる。</p>

7 題材の目標

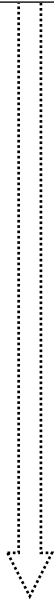

- (1) 言葉の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。
- (2) 旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること。
- (3) 音のつながり方が異なることによって生じる雰囲気の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を豊かにする。

8 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知言葉の特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。	思旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	態音のつながり方が異なることによって生じる雰囲気の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

9 題材の指導計画

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	知・技	思	態
		〈 〉内は評価方法		
1	<p>◆言葉の特徴や音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。</p> <p>○CMソングをつくることに見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で耳にするCMソングを数曲聴き、CMソングの効果について自由に話し合う。 ・CMソングをつくる際の課題や条件を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><音楽をつくる際の課題や条件> (一人一作品をつくる)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①表したいイメージと関わらせながら、つくった歌詞に音を付ける。 ②4分の4拍子、4小節の旋律を完成させる。 ③言葉の抑揚に合った旋律をつくる。 ④五音音階を使ってつくる。 </div> <p>○SONG MAKER やバーチャルピアノの使い方に慣れる。(別時間扱い)</p> <p>○広島県の魅力を伝える歌詞を考える。(別時間扱い)</p> <p>○言葉の特徴について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・童謡「ぞうさん」を例に挙げ、言葉の抑揚が自然に伝わる音の流れを感じ取る。 ・自分が作った歌詞の抑揚を調べ、表したいイメージを表現するには、どのような旋律にするとよいか考えながら試行錯誤する。 			

2	<p>◆表したいイメージを深めたり広げたりしながら、言葉の特徴や音のつながり方に着目して音楽をつくる。</p> <p>○表したいイメージをもち、言葉の特徴や音のつながり方の特徴を生かして創意工夫し、CMソングをつくる。</p> <div data-bbox="264 376 1050 607" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><予想される、生徒が考える「表したいイメージ」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次の霧の海の雄大さを表現したい。 ・お好み焼きがじゅうじゅう焼けている感じを出したい。 ・宮島の鹿が楽しそうに駆け回っている様子を表現したい。 ・カーブを応援する熱い思いを表現したい。 </div> <p>・最初にイメージを考えてから音楽をつくるだけでなく、試行錯誤しながら音楽をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わってもよいことを確認する。</p> <p>・班で実際に演奏したり、意見交換をしたりしながら音楽をつくり、つくった音楽について互いに助言する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</div> 〈観察〉 〈ワークシートⅠ〉		
3	<p>◆創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表す。</p> <p>○友達の見意見を基に、前時に記述したワークシートを見返し、試行錯誤しながら作品を仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった音楽を再生したり、歌ったりしながら表したいイメージが音楽で表現できているかを確認する。 <p>○作品を聴き合いながらつくったCMソングの面白さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ発表し、工夫点を見つけたり感じたりしながら聴き合う。 <p>○題材のまとめと振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の学習を振り返り、これからの学習や生活で生かしたいことをまとめ、学級全体で意見交換する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技</div> ② 〈観察〉 〈ワークシートⅢ〉	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思</div> ② 〈観察〉 〈ワークシートⅢ〉	 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">態</div> 〈観察〉 〈ワークシート〉

10 本時の展開（本時：2／3）

(1) 本時の目標

○旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。

(2) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
導 入 （10分）	1 前時の復習を行い本時の学習活動に見通しをもつ。		
展 開 （35分）	2 表したいイメージをもち、言葉の特徴や音のつながり方の特徴を生かして創意工夫し、CMソングをつくる。 3 つくった作品を紹介し合い、意見交換を行う。 4 修正したり工夫を重ねたりしたいことをワークシートにまとめる。	◇最初にイメージを考えてから音楽をつくるだけでなく、試行錯誤しながら音楽をつくる過程で思い付いた新たなイメージを生かしたり、イメージ自体が変わったりしてもよいことを確認する。 ◆気付いたことについて対話しながら工夫できそうなポイントに気付かせる。 ◇さらなる工夫につながりそうな意見を全体で取り上げ、改善点を意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄大な感じを表現するために、音を大きく跳躍させた ・わくわくした気持ちを表現するために弾むリズムを使った ・言葉の抑揚に沿って音を選んだ </div>	<div style="text-align: center;"> 態 （観察・ワークシート） </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> 知 （観察・ワークシート） </div>
ま と め （5分）	○ 学習のまとめを行う。 学習目標に対し自己評価を行い、成果と課題を振り返る。		

11 主体的な学びを促すポイント（深い知識・技能の活用、協働的な学び、批判的思考など）

参考作品の知覚・感受を通して、創作活動に見通しをもたせること。
音楽科の特質に応じた言語活動によって自分の考えを広げたり深めたりさせること。

12 授業参観者に見てもらいたいポイント

生徒が音楽的な見方・考え方を働かせることができるような展開になっているか。具体的には、生徒が、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素（「旋律」「リズム」）に着目して、「イメージと関わらせて」創作活動に取り組むことができているか。

広島県の魅力を伝えるCMソングをつくろう①

課題

- ・表したいイメージと関わらせながら、4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。
- ・五音音階を使ってつくる。

2年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

1 生活の中で耳にする（印象に残る）CMソングを挙げてみよう。

～のCM	耳に残るメロディーや歌詞（メモ）

2 歌詞を考えよう。

（例）①【短い歌詞】 + ②【地域名】名物（名所） + ③【紹介したいもの・場所】
 「 ①なんてきれいな霧の海 ②三次の名所 ③高谷山 」
 「 ①熱々ふうふうおいしいよ ②広島名物 ③お好み焼き 」
 「 ①甘くておいしい ②宮島名物 ③もみじ饅頭 」

<アイデアシート>

広島県の魅力を伝えるCMソングをつくろう②

2年()組()番 氏名()

課題

- ・表したいイメージと関わらせながら、4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。
- ・五音音階を使ってつくる。

1 五音音階の特徴を理解しよう。



<どのような感じがするかな。>

2 音のつながり方について感じ取ったことをまとめよう。

音のつながり方や音階	感じ取ったこと
隣の音につながる (順次進行)	
隣の音以外につながる (跳躍進行)	
上行する	
下行する	

③ 決定した歌詞について、言葉の抑揚を調べよう。また歌詞に合うリズムを考えよう。

歌詞	
抑揚	
リズム	$\frac{4}{4}$

<アイデアシート>

どのようなCMソングにしたいかイメージしよう	左のイメージを表すためには、「旋律」をどのように工夫したらよいただろう？

④ ② ③の内容を踏まえ、表したいイメージに合うように旋律をつくりましょう。(お試シート)

■学習の振り返り(頑張ったこと、進歩したこと、難しかったこと、次に頑張りたいこと等)

月 日	
月 日	
月 日	

